

# 市電のふるさと

第11号



## もくじ

- 1~2 特集／市電の会誕生10周年
- 3~4 市電トピックス
- 5~6 News
- 7 路面電車Essay 第1回 早川淳一さん

# 市電の会誕生10周年

写真で振り返る10年

平成2年12月1日に市電の会が誕生してから10年。この間市電の会では、市電を街づくりを生かそうと、いろいろな事業に取り組んできました。そこで今回は、市電の会10年の活動の様子を写真とあわせて紹介します。

市電のふるさと

## 市電の会発会式



### 市電の会発会式

平成2年12月1日に市電の会が発会し、記念式典が盛大に開かれました。中央区内の連合町内会や老人クラブ、商店街組合などで組織される市電の会。この日、中央区民センターで開かれた記念式典には、中央区民約200人が出席。市電の会会長に選出された本府地区町内会連合会の川崎静一郎会長が「地域の活性化に少しでもお役に立てるよう、関係機関のご支援をいただきながら事業を推進していきたい」と挨拶し、出席者全員で発会を祝いました。

## 活動の様子

### 市電まつりへの参加



この祭りは地域ぐるみで取り組めるイベントとして平成3年から11年まで（8年から「市電のふるさと・中央区民まつり」に改称）開催されました。市電体験運転や市電との綱引きなど、様々なプログラムが用意され、毎年たくさんの方が訪れました。

## 「市電の会」のあゆみ

- ◆平成2年度  
市電の会設立（12月）。会報「市電のふるさと」創刊号発行
- ◆平成3年度  
第1回「市電まつり」参加、市電沿線飾花・清掃活動実施、南一条通で不法駐車一掃・違反看板撤去パンフレット配布、会報発行（第2号）
- ◆平成4年度  
第2回「市電まつり」参加、「ミュンヘン市電友の会」と姉妹団体提携、市電の会シンボルマーク制定、市電沿線飾花・清掃活動実施、記念誌「さっぽろ市電の旅」発行、会報発行（第3号）
- ◆平成5年度  
第3回「市電まつり」参加、'93市電愛好団体サミット参加（札幌市開催）、「ミュンヘン市電友の会」との交流（ドイツ訪問）、市電沿線飾花・清掃活動実施、会報発行（第4号）
- ◆平成6年度  
第4回「市電まつり」参加、市電沿線飾花・清掃活動実施、会報発行（第5号）
- ◆平成7年度  
第5回「市電まつり」参加、路面電車サミット'95 in 広島参加、市電沿



## 市電沿線の清掃活動



平成7年まで、毎年、市電まつりを前に、市電沿線の住民による清掃活動が行われました。参加者は、おそろいの市電の会のエプロンと軍手姿で、市電沿線に捨てられているゴミや枯れ葉などを拾い集め、沿線の環境美化に取り組みました。

## 花電車の運行



市電まつりの開催時期にPRを兼ねて華やかな飾りを付けた電車が中央区

の街を走り、市民の目を楽しませてくれました。この花電車、実は冬季に活躍するササラ電車に飾り付けをしたもので、造花や電球などを使ってカラフルに変身していました。

## の姉妹団体提携

## ミュンヘン市電友の会との



平成4年8月、ミュンヘン市電友の会の代表としてシューハルトご夫妻をお招きして、姉妹団体提携調印式を札幌で行いました。また、札幌市電の試乗、電車事業所見学などを通じて多くの市電の会会員や市民との交流を深めました。

## 市電愛好団体サミットへの参加



平成5年7月、中央区の呼びかけで、全国の市電愛好団体と電車事業者が札幌市で一堂に会し、意見交換を行いました。このサミットは、路面電車サミットに改称のうえ7年に広島市、9年に岡山市、11年に豊橋市で開催され、今回は今年秋に熊本市で開催される予定です。

## 会報「市電のふるさと」発行



市電の会の会報として年に1回発行。市電の会の活動や路面電車に関する情報などを掲載しています。今回で第11号となりますが、バックナンバーをご希望の方は、中央区役所1階の相談コーナーまでお越しください。

線飾花・清掃活動実施、会報発行  
(第6号)

### ◆平成8年度

「市電のふるさと'96中央区民まつり」参加、市電沿線飾花事業実施、パネル展「市電のある風景」開催、会報発行(第7号)

### ◆平成9年度

「市電のふるさと'97中央区民まつり」参加、路面電車サミット'97 in OKAYAMA参加、市電沿線飾花事業実施、パネル展「市電のある風景」開催、会報発行(第8号)

### ◆平成10年度

「市電のふるさと'98中央区民まつり」参加、市電沿線飾花事業実施、パネル展「市電のある風景」開催、「市電シンポジウム」市電とまちづくり開催、会報発行(第9号)

### ◆平成11年度

「市電のふるさと'99中央区民まつり」参加、路面電車サミット'99 in とよはし参加、市電沿線飾花事業実施、パネル展「市電のある風景」開催、会報発行(第10号)

### ◆平成12年度

市電沿線飾花事業実施、パネル展「市電のある風景」開催、10周年記念事業(大通公園花壇植栽事業・花苗配布事業・市電シンポジウム2000)市電とまちづくり)実施、会報発行(第11号)



### 花苗配布事業

6月10日の路面電車の日に、大通公園（西2丁目）で、市民に花の苗をプレゼントしました。イレシネやマリーゴールドなど5種類千株の花苗が用意され、2株1セットで500人に配られました。

この日は、午後1時の配布開始前に約120人もの長蛇の列ができ、およそ20分間ですべての花の苗を配り終わる盛況ぶり。集まった市民は「ありがとう」「いい香りだね」とうれしそうに受け取っていました。中には、お目当ての花を友達同士で交換する姿も……。



### 大通公園花壇植栽事業



4月25日、大通公園に市電の立体的花壇が登場しました。この花壇は、高さ1m、幅0.9m、長さ3.4m。パンタグラフ（集電器）や乗降ドアなどの模型も取り付けられており、青や黄色など色とりどりのパンジー1,142株が使われています。

春を運ぶ市電の登場に、道行く人も足を止め、やわらかな花の香りを楽しんでいました。花の市電は、7月2日まで大通西2丁目に停車していました。

### 市電シンポジウム2000 ～市電とまちづくり～



横浜地区連合町内会婦人部長  
かたおか  
片岡うつ子さん



北大助教授  
よし み ひろし  
吉見宏さん(コーディネーター)



札幌国際大教授  
みせじま の はる  
伏島信治さん



人や環境にやさしく、都心の活性化にも寄与できる乗り物として、再び脚光を浴びている市電。この市電に対する市民の関心や親しみを深めてもらおうと、6月23日、中央区民センターで「市電シンポジウム2000」を開催しました。

まちづくりに市電をどう生かしていくか、パネリストたちは、海外の路面電車との比較なども論じながら、さまざまな意見を交わしました。集まった約100人の市民も、生活に深く関わる問題として、熱心に耳を傾けていました。



まちづくりコーディネーター  
よしおか ひろたか  
吉岡宏高さん



狸小路商店街振興組合理事長  
たけうちひろし  
竹内宏二さん



オフィスワーククリエイティブ主宰  
なりたまりこ  
成田真利子さん



## 市電沿線飾花事業

市電の会では、6月1日から9月30日までの4カ月間、市電沿線飾花事業を実施しました。

市電沿線の主要交差点や電停は、プランターなどにより花で飾られ、市民の目を楽しませました。



「西15丁目」電停前交差点



### パネル展 「市電のある風景」 ～昭和のさっぼろ～

6月10日の「路(6)面電(10)車の日」を記念して、パネル展「市電のある風景」をふれあい広場(地下鉄大通駅東西線コンコース内)で開催。戦後の大量輸送時代を迎えた昭和中期(昭和25年～39年)の市電と景観を写真によって振り返りました(市電の会と中央区との共催)。



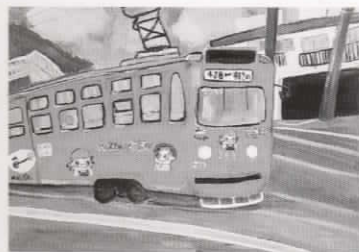
幌平橋(昭和28年)



北海道大博覧会の花電車(昭和33年)



4丁目十字街・散水風景(昭和35年)



中央区内の幼稚園児と小学生を対象に、「市電の絵」作品コンクールが実施されました。応募総数375点の中から、優秀作品50点が選ばれ、11月2日から9日までの8日間ギャラリー電車として営業運行中の3両の市電に展示されました。優秀作品の一部をご紹介します。

## 「市電の絵」 作品コンクール

## News 1

# 電車通の拡幅整備がはじまります

現在の電車通は、

- ・ 自転車やテナントの看板が歩道に放置された場合、通行に支障が出たり、積雪時には歩道が狭いため、除雪をするのが困難で、人がすれ違えない状況となることがあります。
- ・ 荷さばきの車などが駐停車すると、直進車の走行が妨げられたり、電車の軌道敷内へ車が侵入するため、電車の運行に支障が生じるとともに、接触事故が起こる可能性も高くなっています。

これらの課題を解決するため、札幌市では電車通の一部区間の拡幅整備に着手することとしました。

## 整備の内容と効果

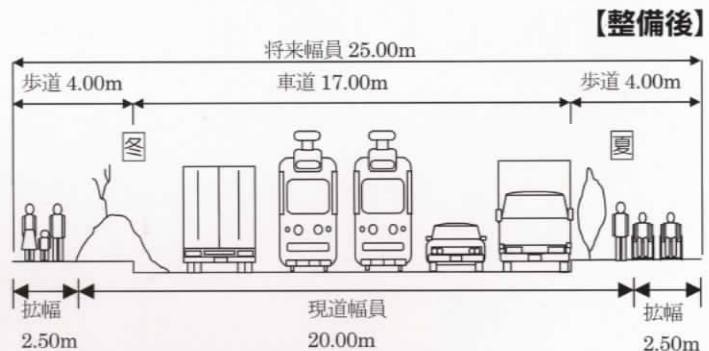
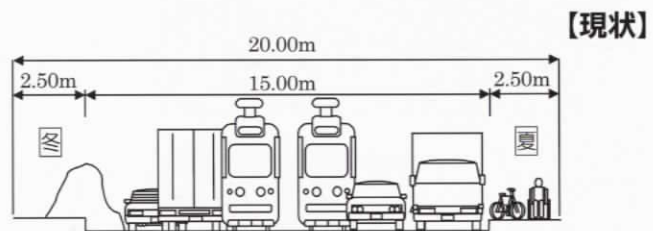
現状と同じ2車線のままで両側に2.5mずつ拡幅します。歩道を1.5m拡幅し、停車帯を設置します。

### ●歩道（現状：2.5m、整備後：4m）

ゆとりのある歩道空間が確保され、車椅子がすれ違うこともできます。また、積雪時でも人のすれ違える歩行空間が可能となります。

### ●車道（現状：15m、整備後：17m）

荷さばきの車が停車しても、電車や直進車の円滑な走行が可能となります。また、積雪時では堆雪スペースとして利用できることから、電車と車の走行性が改善されます。



## 整備区間



## 整備スケジュール

### ●福住・桑園通（南1条～南8条）

〔西15丁目〕～〔西線9条旭山公園通〕電停間

用地補償 平成12年～平成17年（約6年間）

工事 平成17年～平成18年（約2年間）

### ●西7丁目通（南4条～南8条）

〔創成小学校前〕～〔山鼻9条〕電停間

用地補償 平成12年～平成17年（約6年間）

工事 平成17年～平成18年（約2年間）

（※上記スケジュールは、予定であり変更になる場合があります。）  
関係する皆様方のご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先

札幌市建設局土木部街路課 電話：211-2622

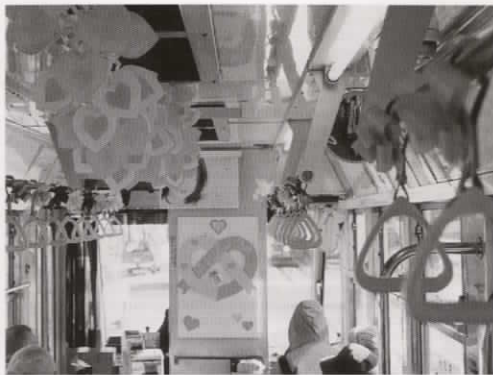


## News 2 クリスマス電車・バレンタイン電車登場

クリスマスムードが盛り上がる12月21日、札幌の街にクリスマス電車が登場しました。赤と白の車体には「Merry Christmas」の文字が書かれ、車内もクリスマスらしい飾りがあしらわれました。この電車は、清涼飲料メーカーが市民にクリスマスムードを楽しんでもらおうと企画したもので、25日まで運行しました。



クリスマス電車の車内



バレンタイン電車の車内

そして、バレンタインデーが近づく2月6日、今度はバレンタイン電車の登場です。この電車は、菓子メーカーが企画したもので、ハート型のシールが張られた車体には「St. Valentin's Day」の文字が書かれています。車内も、天使の人形やハートの飾りが天井に取り付けられ、つり革にはカラフルなリボンがかけられるなど、ロマンチックな雰囲気につつまれました。この電車は、14日までの9日間、「西4丁目」と「すすきの」の間を往復しました。

### 「市電の会」 賛助会員募集

市電の会では、賛助会員を募集しています。市電の好きな方なら個人でも法人やサークルなどの団体でも入会できます。

年会費は、個人千円、団体一万円。会員には、会員バッジを差し上げるほか、会報「市電のふるさと」をお送りします。

入会をご希望の方は、中央区役所や中央区内の各連絡所でお渡ししている入会申込書に入会金を添えて、事務局までお持ちください（郵送でも結構です）。

#### 【申し込み・お問い合わせ】

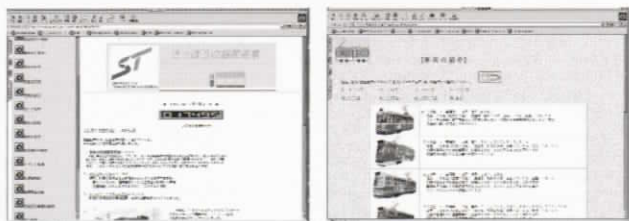
市電の会事務局

(中央区南3条西11丁目 中央区役所総務企画課企画調整担当)

☎231-2400 内線219

### News 3 ホームページ「さっぽろの路面電車」であなたも電車博士になれる？

「さっぽろの路面電車」というホームページをご存じですか。このホームページは、市交通局職員の中井勇人さんが制作しています。「路面電車の将来」「電車の歴史」「市電写真集」をはじめ、「路線周辺の観光」「イベント情報」のページなどもあって、内容は盛りだくさんです。全国の路面電車やLRTのホームページにもリンクしていて、あなたもこのホームページで電車博士になれる。ぜひご覧ください。



ホームページアドレス

<http://www3.justnet.ne.jp/~hayato-nakai/WELCOME.HTM>

# 路面電車 Essay

第1回

はやかわ じゅんいち  
早川 淳一さん



## プロフィール

昭和38年札幌市生まれ市電の会賛助会員。鉄道ファンとして全国の電車事情に詳しい。平成10年に市電の会が主催した「市電シンポジウム」にパネリストとして出演。日本路面電車同好会の会員として「路面電車サミット」にも参加している。平成11年10月に出版された写真集「札幌・市電の走る街」（札幌LRTの会編）の編集を担当。現在、釧路市在住。

## 広島 の街を走る「グリーンムーバー」は ヨーロッパ生まれの低床車。デザインも斬新

「市電」や「路面電車」の話題が出ると、とかく郷愁や情緒といった面が強調されがちですが、欧米諸国では早くから都市の交通機関としての再評価が行われ、車両や施設の改良、新しい路線の開設などが進められて来ました。

そうした中で、お年寄りや障害者の乗車を容易にするために、乗車口と床の段差をなくした「低床車」の開発が進められ、多くの都市で導入が進められています。

日本でも最近になって、熊本と広島

に相次いで低床車がお目見えし、市民から好評を得ています。その中から、昨年私が乗車してきた広島電鉄の新形車「グリーンムーバー」を紹介しよう。

「グリーンムーバー」はドイツのジーマス社が開発し、欧米の各都市で導入が開始されている新型の路面電車（LRV）です。広島に導入されたタイプは5車体の連接構造になっており、全長30mを超える大型車です。

モーターと台車を特殊な構造にして、乗車口と床との段差をなくし、バリアフリー化が図られていて、スムーズな乗降ができるのが最大の特徴です。もちろん車椅子で乗車する場合にもステップがないため、停留場の設備さえ整



車内は広々

つていれば補助者なしで乗降することも可能です。実際に私が乗車した際にも、一人で乗られている車椅子の乗客の方を見かけました。ステップのない車内は広く、色使いも斬新で、さすがにこの車両がヨーロッパ生まれであることを実感させられます。

「グリーンムーバー」は2年前に最初の車両が登場したのち、続々と増備が続けられ、現在は4編成が広島駅前〜宮島間で主に運行されています。広島へ行かれた折には、是非試乗されることをお勧めします。

今後、岡山などでも低床車の導入が計画されています。このような車両が札幌近郊でも活躍する日が来ると、路面電車に対する見方も変わるのではないでしょうか。



グリーンムーバーの外観



ステップのない乗降口